

## 中国への給費派遣留学生募集要項

わが国と中国との関係は、1972年の国交正常化以来、政治、経済、文化交流等各方面で飛躍的に発展してまいりました。

日中交流が友好を目的とする段階から、さらに実務協力関係へと発展するにつれて、両国間の相互理解が一層求められるようになり、これらの交流を担う日本及び中国の若い世代の人的交流の重要性は、ますます高まってきております。

財団法人霞山会は1982年より、日中学術交流の一環として、中国の日本学関係研究者、教育者の留学・研修招聘を行ってまいりました。1986年には本事業の一層の発展充実を期し、中国教育国際交流協会との間に、留学生相互交換協定を締結いたしました。

今回、同協定に基づき、中国への給費派遣留学生を広く募集いたします。

日中両国間の相互理解を深め、健全な交流関係を構築することを熱望する若い方々の応募を期待しております。

1. 募集人員 5名
2. 募集留学生の種類 ① 高級進修生 ② 普通進修生
3. 応募資格
  - (1) 日本国籍を有する者
  - (2) ①高級進修生… 大学院修士課程修了（2013年3月修了予定）以上の者。  
応募時40歳未満。
  - ②普通進修生… 4年制大学の2年以上の者。応募時35歳未満。  
(注) 留学生区分については後記（参考I）を参照。
  - (3) 新HSK5級相当以上、もしくは中国語検定試験2級以上の能力を有すること。  
※中国語能力試験未受験または取得証明書の提出がない場合は当会の中国語試験を受験すること。
  - (4) 心身ともに健康な者。
4. その他の留意事項
  - (1) 第2次最終選考は財団法人霞山会に来会して受験すること。
  - (2) 受験のための交通費は支給しない。
  - (3) 応募書類は返却しない。
  - (4) 他の留学団体との併願はできるが、合格した時点で速やかにいずれかに決定し、辞退する場合は当会まで連絡すること。
  - (5) 当会の奨学金は、中国の大学における正規の学位修得課程（学士、修士、博士課程、ダブルディグリー制度等）に充当することはできない。
  - (6) 当派遣留学制度について、応募者が所属する会社あるいは機関が推奨または制度化している研修プログラム等に充当することはできない。
5. 専攻分野  
近・現代中国に関する人文・社会・自然科学分野。  
(近代以前の中国を研究対象とする者および漢語進修生は除く)

6. 留 学 期 間 2013年9月から2014年7月まで。

7. 奨 学 待 遇 (昨年度実績)

公費留学生

奨学金：中国政府より下記金額を支給。

- ① 高級進修生 月額2,000元
- ② 普通進修生 月額1,700元

学費・宿舎費・留学先指定医療機関における医療費：免除

8. 本会特別支給金 (上記7以外)

- (1) 渡航費：エコノミークラス往復渡航費 (原則として国際線最短距離) の実費または航空券を支給する。
- (2) 留学支度金：10万円 (留学時に支給)
- (3) 特別奨学金：年間12万円を支給する。

(注) 3月に日本の指定口座宛一括送金。留学を中断または中止した場合は、月割で支給。

9. 受 入 大 学

中国教育部および中国教育国際交流協会指定の大学。志望校は3校まで選択することができる。  
ただし受入大学等の最終決定は中国教育部が行うので、必ずしも志望校に入れるとは限らない。  
なお、指定の大学については、後記 (参考Ⅱ) を参照。

10. 応 募 方 法

応募書類を下記あて郵送または持参のこと。

提出先：

〒107-0052

東京都港区赤坂2-17-47

(財) 霞山会 派遣留学生係

TEL：03-5575-6301 FAX：03-5575-6306

提出書類：

- ① 所定の申込書、研究計画書、および研究業績 (自書のこと)
- ② 推薦状 1通  
(指導教授または、准教授によるもの。あて先は『派遣留学生 選考委員会』とする。形式は自由。)  
(注) 外国語の場合は、日本語訳添付のこと。
- ③ 成績証明書 1通 (最終学校のもの)  
(注) 大学院修了者および同在籍者は学部の証明書も併せて提出すること。
- ④ 小論文『なぜ中国留学を希望するか』  
手書き：A4判横書、400字詰原稿用紙 5～6枚  
パソコン：A4判横書、2000～2400字程度
- ⑤ 中国語能力証明書のコピー (新HSK5級相当以上、中国語検定2級以上)  
(注) 未提出の場合は、必ず申込書の未提出欄に○印を付すこと。

11. 応 募 締 切

2013年1月15日 (火) 当会必着。持参の場合は午後5時まで。

(注) 1月25日 (金) までに受領書が届かない時には本会に連絡のこと。

## 12. 選考方法

### (1) 第1次試験 書類選考

可否通知予定：2013年2月21日（木）

（注）24日を過ぎても可否通知が届かない場合は、本会に連絡のこと。

### (2) 第2次試験 論文、面接試験

2013年3月上旬

①課題論文：400字詰原稿用紙 3～4枚

②面接試験

（注）中国語能力証明書（コピー）が未提出の場合は中国語試験（ヒアリング・筆記）を課す。

### (3) 合格発表

①合格内示：2013年3月中旬

②正式決定：2013年8月上旬

（注）第1次、第2次試験いずれも可否の理由開示については原則として応じない。

\*上記合格の内示を受けた者は、当会から中国教育部に推薦される。

\*中国教育部による決定については、当会から本人あてに通知する。

## 13. 本会の責任について

本会の都合による留学日程の変更または中止についてのみ責任を負うこととし、それ以外の本人の受ける不利益については一切責任を負わない。

## 参 考

### I. 中国政府による外国人留学生の区分

中国政府は外国人留学生を以下のように区別している。

- ①高級進修生：大学をすでに卒業し、修士号を持っているかまたは博士号候補者となっている者で、特定の専攻課題について原則として自主的に研究を行う者。修業年限は原則として1年。
- ②普通進修生：4年制大学の2年以上の者で、本人の専攻する分野を引続き中国で研究する者。修業年限は1年。

### II. 留学生受入大学

国家留学基金管理委員会のHP（<http://www.csc.edu.cn/Laihua/Search.aspx>）で検索。

以上

◎応募書類にご記入いただきました内容は、当会事業にかかわるご案内、ご連絡およびご送付のみに使用いたします。  
◎お預かりしました個人情報 は法令および当会規則にしたがって厳正に管理いたします。

本会は、「日中協力」を目的として1898年11月に設立された東亜同文会の精神を継承し、外務省所管の公益法人として1948年3月に創設されました。

本会の目的は、わが国とアジア諸国、特に中国との文化交流を通じてアジア諸国民の相互理解と友好の促進を図り、アジアひいては世界の平和と安定に貢献することにあります。このため、日中両国の留学生・研究者の交換を含む教育学术交流、中国語および日本語教育、中国を主とする調査研究、出版など幅広い事業活動を行っており、さらに事業内容を拡充すべく努めております。

文化事業では、中国教育国際交流協会ならびに中国国際交流協会との協定に基づいた留学生・研究者の相互派遣、日本語教師の短期訪日研修、各種シンポジウムの実施をはじめ、中国の多くの大学・機関との人事交流、資料交換等を行っております。また、上海地域の大学、研究機関と「学术交流に関する協定書」を締結し、学術研究交流を行っております。

東亜学院では、日中ビジネス、文化交流に携わる方々のための中国語講座を開講しています。また、2000年4月には日本語学校を設立し、主に中国からの就学生を受入れ、日本語教育を実施しています。

調査出版事業としては中国・アジア問題専門紙『東亜』のほか、派遣留学生の成果研究を収録した『中国研究論叢』などを出版しています。また、月例講演会や研究会、シンポジウムの開催等、中国・アジア問題研究機関として内外の研究機関との連繫をはかり、活動の充実に努めております。

## 中国教育国際交流協会とは

1984年、国家教育委員会（現教育部）の賛助のもとに、教育関係の学者、研究者が共同発起人となり創立された全国規模の団体です。

本協会は独立自主、互惠平等の原則に基づき各国の教育科学研究機関、学術団体との文化、教育、人事交流を推進し、日中両国はじめ各国人民との相互理解と友好を深めることを目的としております。

名誉会長	李	滔	(元国家教育委員会外事局長)
	柳	斌	(元国家教育委員会副主任)
会長	章	新勝	(元教育部副部长)



財団法人

# 霞山会 KAZANKAI

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-47

TEL 03 (5575) 6301

FAX 03 (5575) 6306

E-mail: liuxue@kazankai.org

http://www.kazankai.org/

- |   |                    |
|---|--------------------|
| <input type="checkbox"/> 千代田線                             | 赤坂駅5b出入口 (徒歩5分)    |
| <input type="checkbox"/> 銀座線 <input type="checkbox"/> 南北線 | 溜池山王駅12番出入口 (徒歩5分) |